

# 古文書を読む会学習記録

作成日 平成29年1月27日

日時	平成29年1月26日	時間	10:00～12:00
場所	金沢公会堂リハーサル室	出席人数	13名
講師	真田 雅行氏	作成者	山本 千鶴子
テーマ	第二学習 和宮様御下向 ①		
概要	<p>今回から第二学習では「和宮様御下向」を学ぶ。</p> <p>「和宮様御下向」の時代背景・経緯と和宮様のお覚悟</p> <p>ペリー率いる「黒船」の圧力に抗し切れず、幕府は和親・通商条約締結に踏み切り、幕府への不満と尊王攘夷の機運が最高潮に達し、大老井伊直弼は桜田門外で暗殺され、幕府の弱体化が明白となった。この状況を脱却し幕府による支配体制強化の為「公武合体政策」が推し進められ、和宮の將軍家への嫁入りが浮上した。この政略結婚に対する孝明天皇の猛反対は結局幕府に押し切れられ、「尊王攘夷」実行の条件が付けられて、江戸幕府第14代將軍・徳川家茂への皇女和宮親子内親王降嫁となった。</p> <p>○ 惜しまじな君と民との為ならば 身は武蔵野の露と消ゆとも(和宮詠)</p> <p>和宮様江戸入り</p> <p>1: 東海道から中山道にルート変更</p> <p>久世大和守殿から大目付へと渡された御書付の写: 東海道筋には荒所等も多く、中山道へ道替えに変更し、御下向予定が差延べとする。実施の頃は追って公表する、とのお達し(文久元年3月)</p> <p>2: 中山道通行止め</p> <p>久世大和守殿から大目付へと渡された御書付の写: 和宮様御下向の折には、中山道も脇道もその御旅館前後里数三日路を通行止めとし、家来も代官や領主・地頭より差し出し、警護を嚴重にするように、とのお触れ(文久元年8月)</p> <p>3: 村々総動員令</p> <p>酒井隠岐守道中奉行のお触れ: 問屋方からの触れあり次第、中山道板橋宿へ臨時助郷として人馬を差し出し、休役中の者も勤めよ、との命令(文久元年9月25日)</p> <p>4: 村々廻状</p> <p>中山道浦和宿へ臨時助郷を出せとの村々至急回覧(文久元年9月21日)</p> <p>5: 大名困惑 尾張藩拝借金願</p> <p>尾張藩は下向費用莫大、且去々申年の大風雨洪水による未曾有の費用も重なり方策尽き果てたとして付家老成瀬隼人正から再三の拝借金願(文久元年10月) 評議: 御勘定奉行から尾張藩拝借金依頼却下</p> <p>6: 人馬割の最終打合せ 高井戸宿にて</p> <p>中山道板橋宿問屋から名主・組頭に対し、打合せをしたいので高井戸宿へ集まるようにとの召集状(文久元年10月16日)</p>		
次回予定	平成29年2月9日 10:00～12:00	於: 金沢公会堂リハーサル室	第一学習 赤井村石井家文書 ⑭